

# CBC NEWS LETTER

Vol.3, No.1, Dec.2002



小樽商科大学ビジネス創造センター

ニューズレター [Vol.3 No.1]

## I N D E X

1. 着任のご挨拶 林幹浩産学連携コーディネーター
2. 第3回産学連携研究成果報告会
3. 大学発ベンチャー支援ワークショップ
4. 小樽商科大学CBCセミナー
5. 朝里川温泉地域振興セミナー
6. CBC主要日誌
7. 投稿案内

1

## 着任のご挨拶

産学連携コーディネーター 林 幹浩

2002年3月より、ビジネス創造センター客員研究員・産学連携コーディネーターを拝命しております林幹浩です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

小樽商科大学は、明治44年(1911年)の開学以来、「実学の実践」「ビジネスを科学する」建学理念で実業界に数多くの人材を輩出されてこられ、そのなかで1999年設立のビジネス創造センター(CBC=Center for Business Creation)は、社会科学系の国立大学では国内初の地域共同研究センターとして、学内のビジネス知見や研究資源、学外ネットワークを生かし、新事業の創造に大きく貢献してこられました。特に近年注目を集める大学発ベンチャーの創生には、その草創期から重要な役割を担ってこられたと理解しております。

そのCBCの客員研究員として、また産学連携コーディネーターとして小樽商科大学の更なる発展のお手伝いをさせていただけるのはたいへん光栄なことと思っております。

商科大学として他大学の産学連携に加わってさらに価値を高める「学学産連携」といったユニークな手法(「北海道モデル」といわれる)の実践やその高度化、時代の要請する商学研究の展開とその知見の発信、事業創造を担う人材育成とその体制の整備など、小樽商科大学のこれからの展開に、微力ながら貢献できればと思っております。

### 林 幹浩氏略歴

- 1983年 東京大学工学部卒、通商産業省(現・経済産業省)入省
- 1991年 ニューヨーク大学MBAを取得
- 1999年 通商産業省・立地環境整備室長兼地域活性化企画官として、ITベンチャークラスターの育成や神戸市の医療産業都市構想の支援等を担当
- 2000年 通産省を退職、インターネット関連ベンチャーに対する投資育成を行うネットイヤー・ネレッジキャピタル・パートナーズ(株)代表取締役
- 2001年 大阪大学等の技術を基にしたバイオベンチャーである(株)カルディオ及びバイオベンチャーへの投資育成を行う(株)トランスサイエンスを設立



## 2

## 第3回産学連携研究成果報告会

2月28日にKKR札幌において第3回産学連携研究成果報告会を開催しました。本報告会は、小樽商科大学ビジネス創造センターから生まれた研究成果を広く公開することで、北海道経済活性化に寄与することを目的に開催するもので、当日は87名の参加者がありました。報告会のプログラムは以下のとおりです。



- (1) 開会の挨拶 下川哲央小樽商科大学  
ビジネス創造センター長

報告1 「循環型社会構築に向けた廃棄物処理業の在り方」

- 宮本 政博氏 (日本資源技術株式会社)  
奥田 和重 (小樽商科大学商学部)  
山本 充 (小樽商科大学商学部)

報告2 「E-ビジネスにおける新事業創出のための共同研究 II-中小工務店のための電子住宅展示場<建てよう.COM>の成果と課題-」

- 澤見 正興氏 (アートシステム株式会社)  
瀬戸 篤 (小樽商科大学商学部)

報告3 「産学連携によるナレッジシステムの研究」

- 佐々島 宏氏 (株式会社コンサルティングファーム)  
下川 哲央 (小樽商科大学ビジネス創造センター長)

## 3

## 大学発ベンチャー支援ワークショップ

7月12日に小樽商科大学ビジネス創造センターは、北海道TLO株式会社、北海道経済産業局とともに道内の大学、研究機関に所属する研究者を対象に、大学発ベンチャー支援ワークショップを小樽商科大学札幌サテライトにおいて開催しました。本ワークショップは、産学官の各機関が経営や研究面でのベンチャー支援制度を技術支援、ビジネス支援、公的支援の立場から紹介することで、大学発ベンチャーの活発な起業を促すことを目的に開催したもので、当日は約40名の参加者がありました。本ワークショップのプログラムは以下のとおりです。

## 技術支援の部

- (1) 「北大先端研におけるリエゾン・共同研究機能について」  
荒磯恒久氏 (北海道大学先端科学技術共同研究センター)

## ビジネス支援の部

- (2) 「CBCのベンチャー設立支援について」  
瀬戸 篤 (小樽商科大商学部)
- (3) 「ジャフコにおける産学連携促進活動等について」  
大野裕深氏 (株式会社ジャフコ)
- (4) 「HVCの取り組み等について」  
松田一敬氏、岡山峰伸氏 (北海道ベンチャーキャピタル株式会社)
- (5) 「トランスサイエンス大学発ファンド第一号の組成等について」  
高須健一氏 (トランスサイエンス株式会社)



- (6) 「IPOを目指した社内体制の取り組み」  
大石一良（朝日監査法人）

#### 公的支援の部

- (7) 「ダイガクハツ事業創出実用化研究開発事業等について」  
末富弘氏（北海道TLO株式会社）
- (8) 「DBJにおける大学ファンドの組成等について」  
服部統幾氏（日本政策投資銀行）
- (9) 「ベンチャー育成センター等について」  
小貫秀治氏（産業技術総合研究所バイオベンチャー育成センター）
- (10) 「北海道におけるバイオ産業クラスター等について」  
寒川卓知氏（北海道経済産業局）

## 4

### 小樽商科大学CBCセミナー

7月18日に札幌京王プラザホテルを会場に『21世紀の北海道に期待する～北海道産業クラスター構想への提言～』をテーマにCBCセミナーを開催しました。本セミナーでは本学前学長である山田家正氏による記念講演の後に舟木秀男氏と海老名誠氏による提言講演があり、約180名の参加者がありました。プログラムは以下のとおりです。

#### 記念講演

「21世紀初頭の日本における北海道の果たすべき役割」

山田家正氏（北海道開拓記念館館長、  
小樽商科大学名誉教授、前学長）

#### 提言講演 1

「流通業界の最前線とIT革命」

舟木秀男氏（舟本流通研究室）

（講演資料は<http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/funamoto.pdf>より入手できます。）

#### 提言講演 2

「躍進するアジアの将来と北海道」

海老名 誠氏（株式会社 富士総合研究所）



## 5

### 朝里川温泉地域振興セミナー

小樽商科大学ビジネス創造センターと観光クラスター研究会「小樽ゆらぎの里」は、6月27日に“朝里川温泉地域の観光振興と地場産業振興を考える”をテーマにして朝里クラッセホテルを会場に本セミナーを開催しました。本セミナーでは、観光クラスター研究会と小樽商科大学との共同研究で、平成13年度に実施したイメージ調査の結果を踏まえ、朝里川温泉地区の振興策と今後の展開について本学教員による講演を以下のように行いました。

講演 1 「朝里川温泉イメージ調査によるマーケティング戦略」

伊藤 一（小樽商科大学商学部）

講演 2 「朝里川温泉地区の振興策—今後の展開」

奥田和重（小樽商科大学商学部）

CBC運営委員会	主任会議
4月16日(火) 議題: 1.平成14年度CBC予算要求(案)について 2.平成14年度CBC学外協力スタッフおよび客員研究員の委嘱(継続)について 報告: 2件	4月 1日
5月21日(火) 議題: なし 報告: 5件	5月 7日
6月18日(火) 議題: 1. CBC主催セミナー(ITセミナー)の開催について 2. CBC主催による「大学発ベンチャー支援システムに関するワークショップ」の開催について 3. 平成14年度「高度技術研修」の実施に伴う学内規則(CBC規程)の整備について 4. CBC各部スタッフの選出について 5. 朝里川温泉地域振興セミナー主催について 報告: 3件	6月 5日
7月16日(火) 議題: 1. 大学評価・学位授与機構の全学テーマ別評価「研究活動面における社会との連携及び協力」の自己評価について 2. 「小樽商科大学運営諮問会議の答申」へのCBC意見等の取りまとめについて 報告: 5件	7月 2日

## 投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿、問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが、投稿原稿の採否、掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○ 投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部

Eメール: [okuda@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:okuda@res.otaru-uc.ac.jp),

## 編集後記

このたび小樽商科大学ビジネス創造センターのニュースレターVol.3, No.1を発行することができました。これも関係各機関・各位のご協力の賜であります。本号では、2002年3月に着任しました林幹浩産学連携コーディネーターの「着任のご挨拶」と、2002年上半期に開催した講演会等のイベントを取り上げました。CBCでは今後、高度技術研修やエグゼティブ・プログラムなどの開催を予定しています。より充実したニュースレターにするために今後ともみなさまのご協力を賜りますようお願いいたします。

(情報資料部)

小樽商科大学ビジネス創造センター (CBC)  
 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号  
 事務室 TEL 0134-27-5290  
 FAX 0134-27-5293  
 メールアドレス [cbc@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:cbc@office.otaru-uc.ac.jp)  
 ホームページ <http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/>